

危機対応マニュアル「富士山噴火の時」

噴火警戒レベルと噴火警報

富士山の火山活動に異常が観測された際には、気象庁から噴火レベルや噴火警報が発表され、これらに応じた避難の指示等が市から伝えられる。

予報警報	レベル	火山活動の状況と住民の行動	富士山
噴火警報	レベル5 (避難)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している場合に発表されます。危険な地域からの避難が必要です。	○
	レベル4 (避難準備)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生する可能性が高まっている場合に発表されます。警戒が必要な地域からの避難や避難準備が必要です。	○
火口周辺警報	レベル3 (入山規制)	居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす噴火が発生、あるいは発生すると予想される場合に発表されます。危険な地域への立ち入りが規制されます。	○
	レベル2 (火口周辺規制)	火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生、あるいは発生すると予想された場合に発表されます。火口周辺への立ち入りが規制されます。	(※)
噴火予報	レベル1 (活火山であることに注意)	火山活動は静穏な状況です。特別な対応は必要ありません。	○

(※) 噴火の可能性が高まっていく段階では、富士山ではレベル3以上が発表される。

避難対象となる地区と避難先

避難対象エリア	避難対象地区 (ライン名)	避難者数	噴火前		噴火開始直後	噴火開始後	避難場所 (避難所) 収容可能人数
			レベル4	レベル5	レベル5 切替 第3次に拡大	レベル5 切替 第4次に拡大	
第2次	根原区 (9,10)	62	避難準備	避難	避難		市民体育館 [2,985]
第3次	猪之頭区 (9,10)	811		避難準備	避難		東小学校 [1,064]
	富士丘区 (9,10)	159		避難準備	避難		稲子小学校 [274]
第4次 A	麓区 (10)				避難準備	避難	市外へ避難

※第2次避難対象エリア：火砕流と大きな噴石の危険があり、溶岩流が3時間以内到達する可能性がある地域

第3次避難対象エリア：溶岩流が3～24時間に達する可能性がある地域

第4次A避難対象エリア：溶岩流が24時間～7日間に達する可能性がある地域